病院名	盛岡赤十字病院
研修プログラム名	眼科

研修目標と実施計画

【研修目的】
他科の基礎知識を踏まえ、眼と全身との関連性の枠組みの中で、眼科疾患に対して的確な診断と対処を行う。全科当直でも直面しうる、眼科救急疾患の診断と初期対応ができる。

【研修目標】
外来新患の病歴作成ができ、そこから必要な眼科の検査を施行し、それに基づく診断をすることができる。
手術助手を通じて、基本的な眼科の手術手技（麦粒腫切開、結膜縫合、結膜・テノン嚢内注射）ができる。

【行動目標】
（1）外来新患の病歴作成
（2）細隙灯を使用し、前眼部、中間透光体の検査ができる。
（3）倒像鏡を使用し、眼底の検査ができる。
（4） 基本的な眼科の手術手技（麦粒腫切開、結膜縫合、結膜・テノン嚢内注射）ができる。

【研修内容】
（1）外来：新患の病歴作成、必要な眼科の検査とそれに基づく診断を指導医のもとで習得する。1週目は診断医とともに診察、及び視能訓練士から眼科諸検査の指導を受けるが、2週目以降は一人で検査、診察し、カルテを作成後、指導医からチェックを受ける。
（2）病棟：主治医として入院患者の検査・治療に参加する。
（3）手術：手術前に、患者に説明を行い、実際の手術では助手を担当する。十分な研修期間がある場合には、指導医のもと、実際に手術、処置を行う。
（4）毎週金曜夕方に症例検討を行い、週毎に症例の理解の達成度を確認。次週の目標の再設定を検討する。

【週間予定表】

	月	火	水	木	金	土
午前	検査外来	外来	外来	外来	外来	なし
午後	医大研修	外来手術 手術のIC	手術助手 病棟業務	検査外来 レーザー	検査外来 レーザー	なし

【その他】
1）眼科外来は非常に混雑し、また検査も眩しく患者にとっては不快な検査が多いので、患者に不満を抱かせることなく、安心感と信頼感を持たせ、能率よく診療を進めて行くことが要求されることを念頭において研修すること。
2）眼科の器械は多数の種類があり、またデリケートで高価なものが多いので、取り扱いには十分注意すること。もし、破損、紛失の際は指導医に必ず連絡すること。
3）患者の診察前・診察後、患者一人毎、各検査前に必ず手指の消毒を励行し、眼感染症の院内感染を起こさないように厳重に注意すること。